



平成29年11月6日

各 位

上場会社名 株式会社 オーバル
 代表者 代表取締役社長 谷本 淳
 (コード番号 7727)
 問合せ先責任者 執行役員管理部門部長 大橋 秀二郎
 (TEL 03-3360-5061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	400	440	250	11.16
今回修正予想(B)	10,800	165	195	26	1.16
増減額(B-A)	△2,700	△235	△245	△224	
増減率(%)	△20.0	△58.8	△55.7	△89.6	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	12,094	384	418	271	12.14

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を修正いたします。
 売上高は、センサ部門及びシステム部門の売上が第2四半期では予想を大幅に下回る見通しとなりました。通期についても、現在の受注残高及び受注状況を鑑み、下期については回復が見込まれますが、前回発表予想売上高は未達となる見通しとなりました。当社主力のセンサ部門については、主要顧客である石油関連業界向けで、価格競争の激化により低迷し、通期予想に対する進捗率が第2四半期末時点で36.0%、期末時点で約80%となる見通しとなりました。また、システム部門についても大口案件の失注により、通期予想に対する進捗率が第2四半期末時点で28.7%、期末時点で約65%となる見通しとなりましたので、上記の通り修正いたしました。
 利益面につきましても、製造経費・販管費の削減に努めておりますが、売上高が大幅に減少する見通しから営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を大幅に下回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上